



# 2年学年だよ

令和4年(2022年)

11月22日(火)

第26号

## 心肺蘇生講習会を行いました

11月8日(火)、救急隊員の方々をゲストティーチャーとしてお招きし、体育館にて心肺蘇生講習会を実施しました。初めに、吹田市の救急・消防についてのお話を聞き、そのあとでクラスごとに分かれて、説明を受けながら模型を使って実際に全員が心肺蘇生の体験をしました。「意外と心肺蘇生って力が要るなあ」とか、「テンポを速くせなあかんねんなあ」といった言葉が飛び交っていましたが、実際にやってみることでより実感が持てたのではないのでしょうか。そして、誰でも比較的容易にできるということに気付いたはずです。

あなたは今後、いつ、どこで、このような場面に遭遇かもあるかもしれません。少しの勇気で救える命があります。

命のバトンをつなげられるのは、目の前にいる “あなた” です。

### Q&A 講習会アンケートの質問への回答

- Q. AED っていくらするんですか？ A. 家電量販店やネットで購入可能。2~30万程度と思われる。リース(有償レンタル)も普及しています。
- Q. 近くに AED がなかったらどうするんですか？ A. 119 番通報で AED の場所を教えてください、吹田市消防本部での HP を見ていただくと、設置場所がわかります。AED がなくてもあなたがいれば心肺蘇生法はできます！！
- Q. どんな事件が多いですか？ A. 救急車の出動の6割が急病です。次にけが等の一般負傷です。
- Q. 自分ができる対策としては「心停止の予防」が当てはまるでしょうか？ A. 例えば心筋梗塞になる前の狭心症(運動すれば胸が痛む、止めると収まる)の段階で、お医者さんに診てもらうことで心筋梗塞の「心停止の予防」にはなります。中学生で心筋梗塞はそうそう無いですが、激しい運動中に、急に胸が痛くなったり苦しくなったりすることがあれば、無理せず先生に助けを求めましょう。

# 薬物乱用防止教室がありました

11月11日(金)、学校薬剤師の先生に来ていただき、薬物乱用防止教室を実施しました。スライドを用いてのわかりやすい説明に、みなさん真剣に聞いていましたね。薬物、タバコの恐ろしさについて学びました。決して、他人ごとではありません。万が一、誘われても、きっぱりと断る勇氣が必要ということ、改めて学びました。

薬物は、自分だけではなく、周りの人の人生も  
狂わせます。  
自分を大切に、周りの人も大切に。



## みんなの感想

- ・薬物の危険性や中毒性など、薬物がやめられない人の理由が知れた。タバコは吸っている人より、周りの人のほうが被害が大きいことがわかった。
- ・タバコも、法律で決められていないだけで、薬物と同じくらいの依存性や危険性があることを知った。
- ・普通の風邪薬でも、摂取しすぎると薬物になることは知らなかった。
- ・巻きタバコ、カードリッジ式タバコ、電子タバコのどれもが同じように悪いのだとわかった。
- ・海外のタバコのパッケージが印象的だった。ああいう工夫をしたら、喫煙者も減るだろうと思った。
- ・最初は自分は薬物なんてやらないから大丈夫だと思っていたけど、話を聞いているうちに、いろいろな誘われ方があると知った。もしかしたら自分も「ちょっとだけなら。」とやってしまうかもしれないと思って、気を付けようと改めて感じた。
- ・今回のお話の中に、「依存」という言葉がたくさんでてきて、それによって、大切な人を傷つけてしまうことも知りました。さらに薬物についての知識を得れたので、これからの人生に活かしていきたいようにしたいです。

